



S.Suzuki

ジャパン・オータムインターナショナル

THE MILE CHAMPIONSHIP

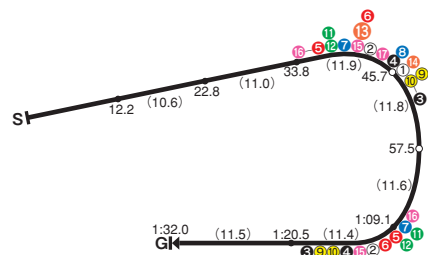
第41回 マイルチャンピオンシップ (GI)

1着 賞180,000,000円 2着 72,000,000円 3着 45,000,000円 4着 27,000,000円 5着 18,000,000円
 付加賞 3,612,000円 1,032,000円 516,000円



レース映像は
こちらでご覧
いただけます。

3歳以上、除未出走馬および未勝利馬
 負担重量 3歳57⁺、4歳以上58⁺、牝馬2⁺減



通過タイム：600^米 800^米 1000^米 上り：800^米 600^米
 33.8 - 45.7 - 57.5 46.3 - 34.5

アラカルト

- ・団野大成騎手はマイルチャンピオンシップ初勝利。JRA重賞は24年3勝目、通算10勝目
- ・池江泰寿調教師はベルシアンナイトで制した17年に続くマイルチャンピオンシップ2勝目。JRA重賞は24年2勝目、通算96勝目
- ・ルーラーシップ産駒はJRA重賞35勝目
- ・6歳馬の勝利は14年ダノンシャーク以来10年ぶり、通算5回目

2024.11.17 京都 曇・曇 芝1600^米 (国産) (指定)

順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600 ^米)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑩	ソウルラッシュ	牡 6	58	団野大成	1:32.0	10-10	33.6	514(+2)	5.9④	池江泰寿(栗東)	121
2	⑬	エルトンパローズ	牡 4	58	西村淳也	2½	8-8	34.2	518(-2)	18.9⑦	杉山晴紀(栗東)	115
3	⑭	ウインマーベル	牡 5	58	松山弘平	クビ	4-2	34.5	476(±0)	41.5⑩	深山雅史(美浦)	114
4	②	ブレイティヴェージュ	牝 4	56	C.ルメール	ハナ	9-10	34.1	488(-4)	3.7①	宮田敬介(美浦)	110
5	⑪	チャリン	牡 4	58	R.ムーア	クビ	14-15	33.6	508(-)	5.1③	R.ゲリアン(英国)	114
6	⑤	セリフォス	牡 5	58	川田将雅	クビ	10-8	34.3	490(+8)	13.2⑥	中内田充正(栗東)	111
7	⑯	タイムトゥヘヴン	牡 4	58	柴田善臣	ハナ	17-17	33.5	484(+2)	152.7⑯	戸田博文(美浦)	111
8	⑧	ニホンピロキーフ	牡 4	58	田口貴太	アタマ	2-2	35.0	482(±0)	194.0⑱	大橋勇樹(栗東)	111
9	⑨	フィアスプライド	牝 6	56	A.シュタルケ	ハナ	6-6	34.6	470(-4)	100.5⑰	国枝 栄(美浦)	107
10	⑫	ジュンプロッサム	牡 5	58	戸崎圭太	アタマ	16-13	34.0	472(+2)	9.7⑤	友道康夫(栗東)	111
11	④	アルナシーム	牡 5	58	藤岡佑介	1¼	14-13	34.2	450(+2)	115.6⑱	橋口慎介(栗東)	108
12	⑥	オオパンプルマイ	牡 4	58	武 豊	クビ	10-12	34.5	464(+10)	19.7⑧	吉村圭司(栗東)	108
13	③	バルサムノート	牡 4	58	北村友一	3	1-1	35.9	512(+8)	170.9⑳	高野友和(栗東)	102
14	⑦	マテンロウスカイ	騾 5	58	横山典弘	ハナ	13-15	34.8	484(+8)	23.0⑨	松永幹夫(栗東)	102
15	①	コムストックロード	牝 4	56	幸 英明	1¼	4-2	35.9	448(±0)	282.7⑳	宗像義忠(美浦)	94
16	⑮	レイベリング	牡 4	58	津村明秀	3	2-5	36.5	494(+4)	162.5⑳	鹿戸雄一(美浦)	92
17	④	ナミュール	牝 5	56	C.デムーロ	大差	6-6	39.7	464(+14)	4.8②	高野友和(栗東)	45

単勝⑩530円(4^馬) 複勝⑩180円(1^馬) ⑬440円(7^馬) ⑭770円(10^馬) ⑯770円(10^馬) ⑰280円(4^馬)
 馬連⑩-⑬3,000円(12^馬) ワイド⑩-⑬830円(9^馬) ⑬-⑭2,260円(30^馬) ⑭-⑯6,080円(46^馬)
 馬単⑩-⑬5,660円(24^馬) 3連複⑩-⑬⑯29,110円(84^馬) 3連単⑩-⑬⑯128,450円(383^馬)
 5重勝①⑤②⑬⑩2,986,120円(146票) 対象競走：東京10R / 京都10R / 福島11R / 東京11R / 京都11R

ソウルラッシュ *Soul Rush*

牡 黒鹿毛 2018.3.28生
北海道日高町 下河辺牧場生産
馬主・石川達絵氏 栗東・池江泰寿厩舎
馬名意味・魂の突進

キャットアリアUSA系 F8-c

ルーラーシップ 鹿毛 2007	キングカメハメハ 鹿毛 2001	Kingmambo マンファスIRE
	エアグルーヴ 鹿毛 1993	トニービンIRE ダイナカール
エターナルブーケ 黒鹿毛 2013	マンハッタンカフェ 青鹿毛 1998	サンデーサイレンスUSA サトルチェンジIRE
	キャットアリアUSA 鹿毛 1999	Storm Cat
		Careless Kitten

5代までのインブリード：Northern Dancer S5×M5

INTERVIEW

下河辺行雄代表(下河辺牧場)

悔しい思いが一気に晴れました

パドックでの動きがとても良く、心身の充実ぶりに満ち溢れているように見えたので、この状態ならいい結果が出るのではないかと思っていました。実際、完勝とっていいレースだったと思います。これまで何度も経験した悔しい思いが一気に晴れました。心身ともに充実期を迎えた今なら、次走予定の香港でもいい結果がついてくるのではないかと期待しています。



Photostud

マイル戦に照準を定められてからは破竹の勢いで出世の階段を駆け上がった本馬は、これまでマイル重賞を3勝しかし一線級として活躍する一方、前年のマイルチャンピオンシップはクビ差の2着、6月の安田記念も0秒1差の3着と、GIでは悔しい惜敗を重ねてきた。それでもこの日は数々の無念を一掃する走りを見せ、将来の種牡馬入りを見据えても、大きな意味を持つ頂点のタイトルをついに掴んだ。

マイル戦に照準を定められてからは破竹の勢いで出世の階段を駆け上がった本馬は、これまでマイル重賞を3勝しかし一線級として活躍する一方、前年のマイルチャンピオンシップはクビ差の2着、6月の安田記念も0秒1差の3着と、GIでは悔しい惜敗を重ねてきた。それでもこの日は数々の無念を一掃する走りを見せ、将来の種牡馬入りを見据えても、大きな意味を持つ頂点のタイトルをついに掴んだ。

父ルーラーシップ

北海道安平町 ノーザンファーム生産 詳細はP.10参照

母エターナルブーケ

北海道日高町 下河辺牧場生産 中央5戦0勝、地方1戦0勝

ソウルラッシュ 本馬(18 牡父ルーラーシップ)中央21戦8勝(マイルチャンピオンシップ^{G1}、マイラーズC^{G2}2回、京成杯オクタムH^{G3}、春興S、クリスマスC、マイルチャンピオンシップ^{G1}2着、富士S^{G2}2着2回、安田記念^{G1}3着、マイラーズC^{G2}3着)、香1戦0勝 獲得総賞金638,332,500円

ディオ (19 牡父リオンディーズ)中央22戦5勝(東風S・L、斑鳩S、甲東特別、関屋記念^{G3}2着、米子S・L2着)◎

ジョアジョルナータ(20 牡父リオンディーズ)中央3戦0勝、地方1戦0勝
アンバサダー(21 牡父マクフィGB)中央2戦0勝、地方3戦0勝
(24 牡父キセキ)

※22(死産)、23(前年種付せず)

祖母キャットアリアUSA

北米1勝。07年輸入、14年死亡

ヒラボクディーブ(10 牡父ディーブインパクト)中央4勝(青葉賞^{G2}、丹頂S^{G3}、水仙賞、モンゴル大統領賞^{G3}3着)、種牡馬

ワンダフルワールド(11 騾父タイキシャトルUSA)中央1勝、障害2勝
エターナルブーケ(13 前出)

曾祖母ケアレスキトゥン Careless Kitten

アメリカ産 北米1勝

ロレンゾーニ Lorenzoni(86 牡父Clever Trick)北米3勝(ブリーダーズ
フューチャーティ^{G2}2着、イロコイS3着、ワールドアビールS3着)

アドヴァーサリアル Adversarial(87 牡父Fit to Fight)北米12勝(サミング
S・L)

アルカディアンヒーロー Arkadian Hero(95 牡父Trempolino)英、仏、北
米、首7勝(ミルリーフS・英^{G2}、ハンガーフォードS・英^{G3}、クリテ
リオンS・英^{G3}、ホープフルS・英L、ハックウッドS・英L、アットマ
イル・加^{G1}2着)

ケアフリーチーター Carefree Cheetah(96 牡父Trempolino)英0勝、ウ
オリアーガール Warrior Girl(ダブルドッグデアS・米^{G3}3着)の母
キャットアリアUSA(99 前出)

カフェララーUSA(01 牡父Stravinsky)中央0勝、カフェプリッツ(逆瀬
川S、甲南S、ダイヤモンドS^{G3}3着)の母

7度目の挑戦で悲願のGI初制覇

マイルの舞台で新境地の開拓に挑む前年のエリザベス女王杯の覇者ブレイクデューエッグ、史上7頭目の連覇がかかるナミュール、GI・3勝の実績を誇る欧州の最強マイラー・チャリンをはじめ、例年以上に多彩な顔触れが一堂に会したマイルチャンピオンシップ。その軍配は先の3頭と同等の支持を集めた日本の「スベシヤリスト」にあがった。3歳時の暮れ以降は一貫してマイル戦に使われ、実績を積み上げてきた6歳馬ソウルラッシュが、鋭い差し脚を冴え渡らせて完勝。7度目の挑戦で悲願のGI初制覇を果たした。

前走の富士S(5着)で初めて逃げの手に出たバルサムノートが、この日も思い切りよく先手を主張、やや速いラップを刻んでレースを引っ張る。隊列が縦に延びていくなか、ブレイクデューエッグは中団を追走。向正面でこれをかわし、6番手に押し上げたナミュールに対し、ソウルラッシュの団野大成騎手は馬群の後方を溜め、ダツシユがつかずにジリジリと位置を下げたチャリンは後方3番手を進んだ。3コーナーの坂の下りに差し掛かると馬群は凝縮。ここでブレイクデューエッグの外に並び、相手に「蓋」をしてコーナーを回った団野騎手は、直線に向くと馬場の傷みが少ない外めに進路を取り、スパートにかかる。加速を促されたソウルラッシュも鋭く反応。好位勢の直後から先に抜け出しをはかったワインマーベルを一気にかわしてリードを開き、エルトンパローズにブレイクデューエッグ、チャリンも加わった横一線の2着争いを尻目に悠々とゴールを駆け抜けた。